

V 第4学年の結果の考察

1 問題のねらいと正答率

(1) 領域の設定

算数科の学習指導要領に示されている領域は、数と計算、量と測定、図形、数量関係の四領域であるので、この学年の問題構

(2) 問題のねらいと正答率

(I) (40分)

成の領域として同じように四領域を考えたが、特に数と計算の領域はその内容を意味の理解、計算技能の二面に分析し、数と計算の領域の基礎的能力を診断出来るように考慮した。

領域	問題のねらい	問題番号		正答率		
				小問	大問	領域
算 の 意 味 (20分)	①億、兆などの単位の理解	1		41.06	41.06	39.16
	②概数が用いられる場合の理解	2	(1)	7.59	5.70	
			(2)	3.80		
	③概数をつくる。	3	(1)	40.30	42.14	
			(2)	43.97		
	④計算過程の計算法則の理解	4	(1)	19.87	26.10	
			(2)	32.33		
	⑤被除数、除数、余りの関係の理解	5		47.59	47.59	
	⑥小数のしくみの理解	6		44.41	44.41	
	⑦分数の意味の理解	7		24.19	24.19	
	⑧約分の理解	8		21.72	21.72	
⑨小数の四則を適用した 問題を解く。	9	(1)	94.75	74.91		
		(2)	55.06			
	10	55.91	55.91			
11	53.80	53.80				